

前橋市の魚類・水生生物

～平成21年度 前橋市自然環境調査（魚類・水生生物） 概要版～



平成22年3月

前橋市



調査の目的

前橋市は、赤城南麓に代表される豊かな森林、利根川や広瀬川をはじめとする大小多数の河川、農地や公園などの自然的な空間など、様々な環境をもつ美しい緑豊かなまちです。

しかし、私たち人間の生活様式の変化などにより、植物や動物が生育・生息する環境は失われつつあり、昔は当たり前に見られた生き物が見られなくなったり、逆に昔はいなかった生き物が新たに出現するなどの変化が出ています。

生き物を継続的に調査し情報を蓄積することで、人間の目からだけではなく、これらの環境の中で実際に生活している“生き物の視点”から環境の変化を捉えることができます。

前橋市では、その取り組みの一つとして、平成9年度から10年度にかけて、基礎調査として、市内で見られる動植物（植物、鳥類、哺乳類・は虫類・両生類、魚類・水生生物、昆虫）の一斉調査を行いました。（大胡・宮城・粕川地区では平成17年度に実施） また、その後も継続して調査対象ごとに追跡調査を続けており、平成21年度は「魚類・水生生物」を対象に調査を行いました。

これからも、私たちが受け継いできた前橋市の自然を大切にしていきたいと思います。

調査の概要

今年は、魚類・水生生物をテーマに、次の調査を行いました。

1 魚類相・水生生物相調査

市内10地点を現地調査し、確認した魚類・水生生物の名前や種数を記録しました。

○調査した日

平成21年7月13日（月）～16日（木）



調査の様子（利根川）

2 市民調査（市民自然観察会）

市民と一緒に粕川親水公園（粕川町月田）で魚類・水生生物の調査を行いました。

○調査した日

平成21年7月26日（日）（参加者41名）



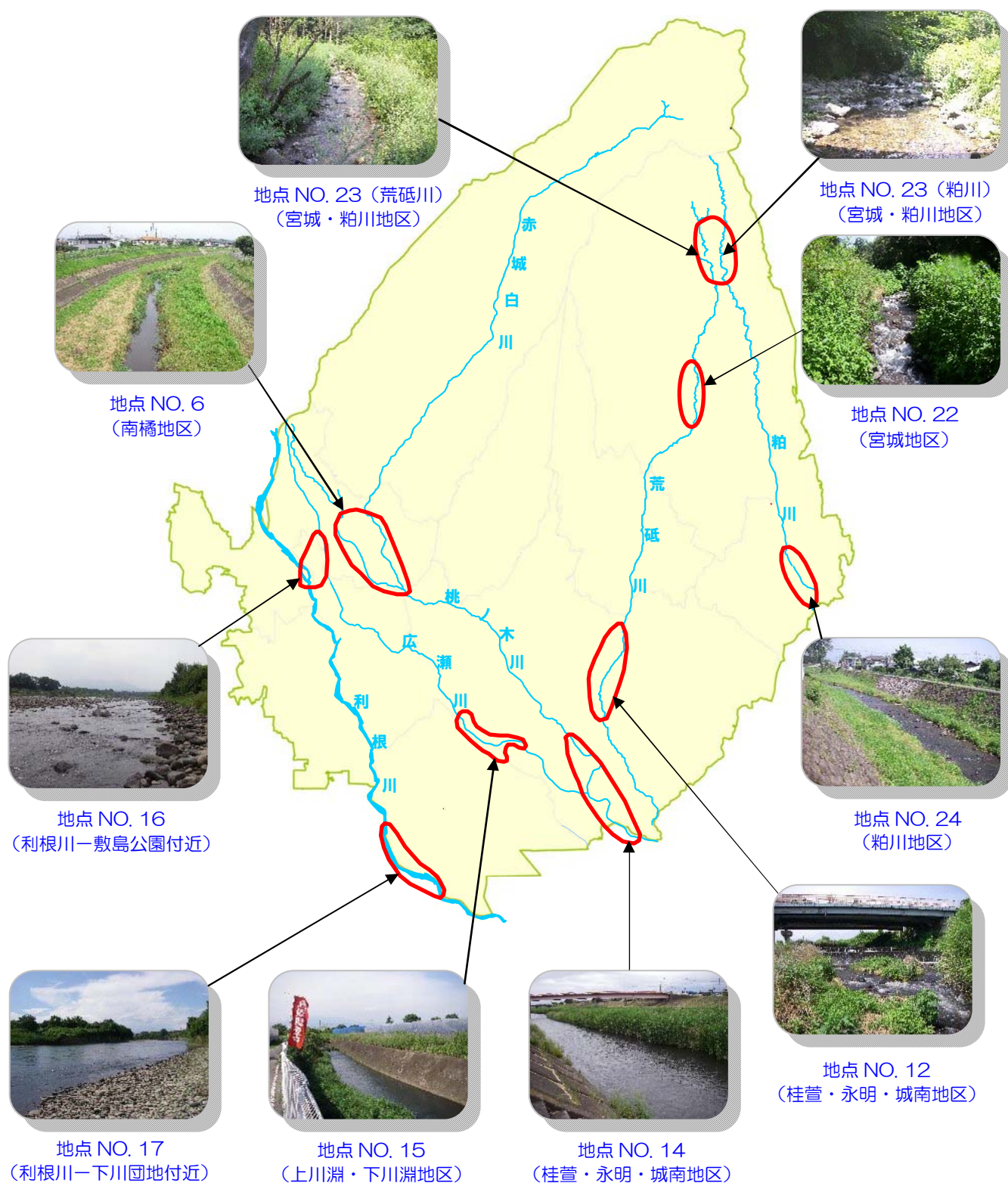
市民調査の様子（粕川）

※「水生生物」とは、魚類以外の水生昆虫等を指します。

調査を実施した場所

前橋市は、北部に位置する赤城山の山頂（海拔1,828m）から、中央部から南部にかけて広がる平坦な土地（海拔100m 前後）まで、緩やかに傾斜しており、その中に、森林、河川、池・沼、水田、畑、住宅地など、さまざまな環境をもっています。

今回の調査では、基礎調査で設定した10 地区24 地点の中から、9 地区10 地点を選び、調査を行いました。

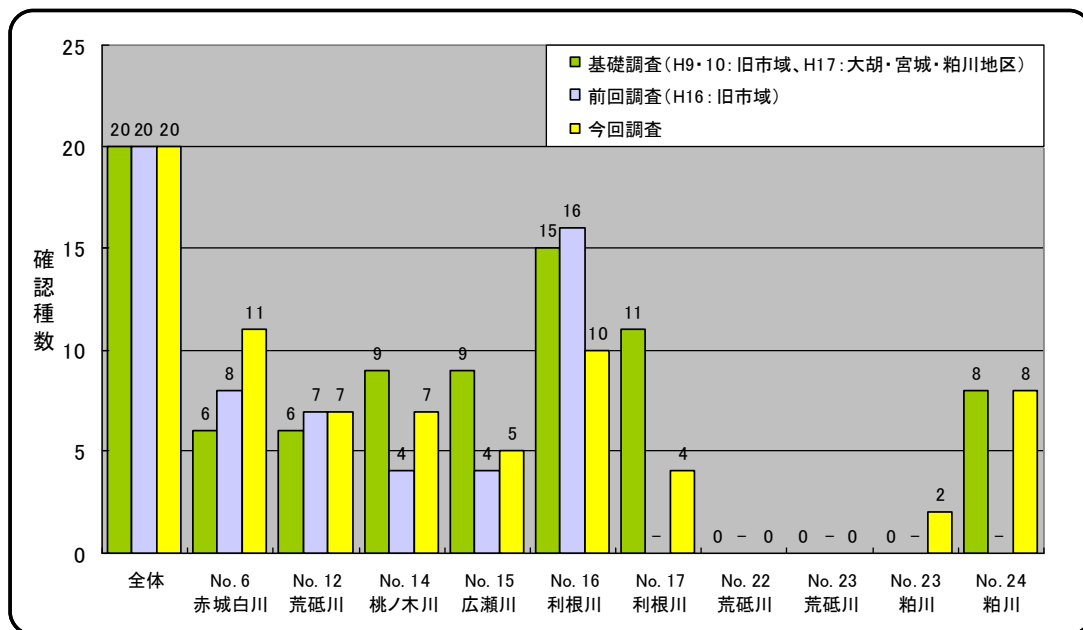


魚類調査の結果

今回の調査では、全体で20種の魚類を確認できました。最も多くの種数が確認された地点は、No. 6（赤城白川）でした。No. 22（荒砥川）、No. 23（荒砥川）では、魚類は確認できませんでした。

（１）過去の調査結果との比較

各地点ごとの確認種数はばらつきがありますが、全体では、基礎調査、前回調査とも20種で、ほぼ安定した調査結果になっています。グラフ中の「－」は、調査が実施されていないことを表します。



魚類確認種数

（２）重要種について

重要種とは、「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）」などに該当し、生息数の減少が心配されている種です。今回の調査では、魚類ではスナヤツメ、ホトケドジョウ、ジュズカケハゼなど10種が確認されました。ただし、イワナ、ヤマメの2種は天然の個体ではなく放流された個体の可能性があります。

重要種の確認状況（魚類）

No.	目 名	科 名	種 名	重要種 選定基準		No. 6	No. 12	No. 14	No. 15	No. 16	No. 17	No. 22	No. 23	No. 24
				国	県	赤城白川	荒砥川	桃ノ木川	広瀬川	利根川	利根川	荒砥川	荒砥川	粕川
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ	VU	絶	○								
2	コイ目	コイ科	アブラハヤ		注	○		○	○	○				○
3			カマツカ		注	○				○				
4		ドジョウ科	シマドジョウ		準	○	○			○				○
5			ホトケドジョウ	EN	絶									○
6	ナマズ目	ギギ科	ギバチ	VU	絶	○		○						
7		アカザ科	アカザ	VU	絶	○				○				
8	サケ目	サケ科	イワナ		地									○
9			ヤマメ	NT	地					○	○			○
10	スズキ目	ハゼ科	ジュズカケハゼ	EN	絶	○	○	○						
合計	5目	7科	10種	6	10	7	2	3	1	5	1	0	0	4

注）重要種選定基準

国・・・環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）（平成19年）における選定種

EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧

県・・・「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）」（平成14年）における選定種

絶：絶滅危惧Ⅰ類 絶Ⅱ：絶滅危惧Ⅱ類 準：準絶滅危惧 注：注目 地：地域個体群

(3) 今回の調査で確認された魚類

今回の調査で確認された主な魚類を紹介します。各河川での確認状況と、重要種の選定状況を付記しました。ただし、イwana、ヤマメの2種は天然の個体ではなく放流個体の可能性があります。

(凡例) : : : 今回の調査で確認できた川
* : : : 表紙に写真を掲載している種



【アカザ】

環境省：絶滅危惧Ⅱ類
群馬県：絶滅危惧Ⅱ類

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【アブラハヤ】

環境省：なし
群馬県：注目

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【イwana】*

環境省：なし
群馬県：地域個体群

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【ウグイ】

環境省：なし
群馬県：なし

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【カマツカ】

環境省：なし
群馬県：注目

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【シマドジョウ】

環境省：なし
群馬県：準絶滅危惧

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【ジュズカケハゼ】*

環境省：絶滅危惧ⅠB類
群馬県：絶滅危惧Ⅰ類

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【タモロコ】

環境省：なし
群馬県：なし

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【ヤマメ】

環境省：準絶滅危惧
群馬県：地域個体群

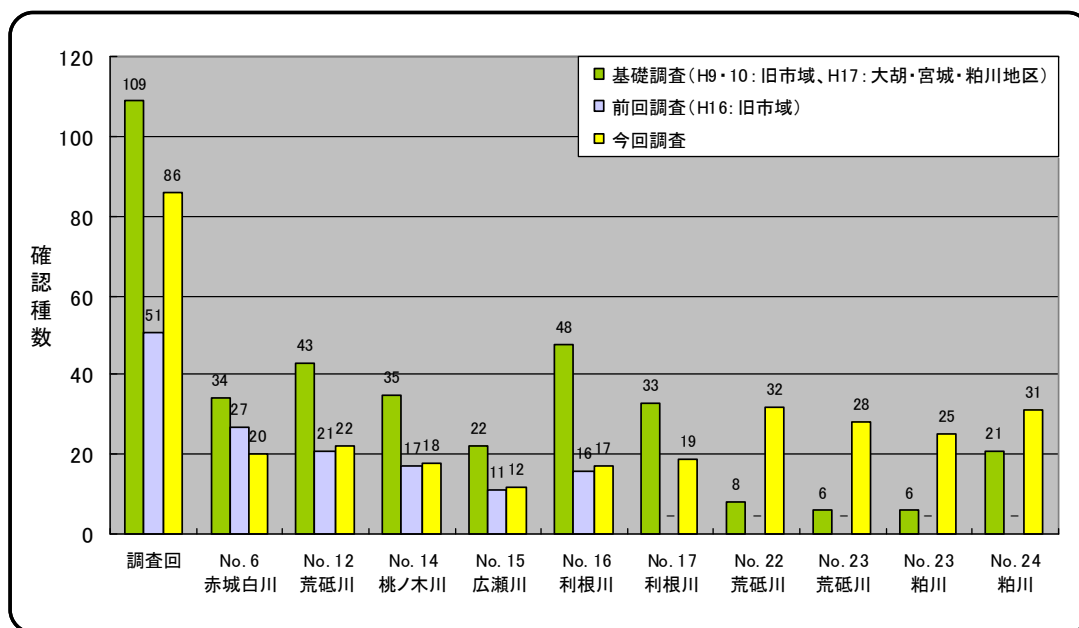
利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----

水生生物調査の結果

今回の調査では、全体で86種の水生生物を確認できました。最も多くの種数が確認された地点は、No. 22（荒砥川）でした。河川の上流域に位置する地点で多くの種数が確認されています。

（１）過去の調査結果との比較

水生生物の確認種数は、基礎調査が109種と多くなっていますが、これは前回調査、今回調査の調査回数が1回であり、基礎調査では3回実施されていることが大きな理由です。なお、グラフ中の「－」は、調査が実施されていないことを表します。



水生生物確認種数

（２）重要種について

水生生物では、ナミウズムシ、ヒラマキミズマイマイ、スジエビ、サワガニ、ノギカワゲラの4目5科5種の重要種が確認されました。

重要種の確認状況（水生生物）

No.	目 名	科 名	種 名	重要種 選定基準		No. 6	No. 12	No. 14	No. 15	No. 16	No. 17	No. 22	No. 23	No. 24
				国	県	赤城 白川	荒砥 川	桃ノ 木川	広瀬 川	利根 川	利根 川	荒砥 川	荒砥 川	粕川
1	順列目	サンカクアタマ ウズムシ科	ナミウズムシ		注	○					○		○	○
2	基眼目	ヒラマキガイ科	ヒラマキ ミズマイマイ	DD	注	○								
3	エビ目	テナガエビ科	スジエビ		注		○							○
4		サワガニ科	サワガニ		準								○	○
5	カワゲラ目	ヒロムネ カワゲラ科	ノギカワゲラ		準							○	○	
合計	4目	5科	5種	1	5	2	1	0	0	0	1	1	3	2

注）重要種選定基準

国・・・環境省版レッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）（平成19年）における選定種

DD：情報不足

県・・・「群馬県の絶滅のおそれのある野生生物（動物編）」（平成14年）における選定種

準：準絶滅危惧 注：注目

(3) 今回の調査で確認された水生生物

今回の調査で確認された主な水生生物を紹介します。各河川での確認状況と、重要種の選定状況を付記しました。なお、アメリカザリガニは「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（外来生物法）の「要注意外来生物」です。

(凡例) : : : 今回の調査で確認できた川
* : : : 表紙に写真を掲載している種



【アメリカザリガニ】

環境省：なし
群馬県：なし

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【ウエノヒラタカゲロウ】

環境省：なし
群馬県：なし

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【オニヤンマ】*

環境省：なし
群馬県：なし

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【カワニナ】

環境省：なし
群馬県：なし

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【サワガニ】*

環境省：なし
群馬県：準絶滅危惧

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【スジエビ】*

環境省：なし
群馬県：注目

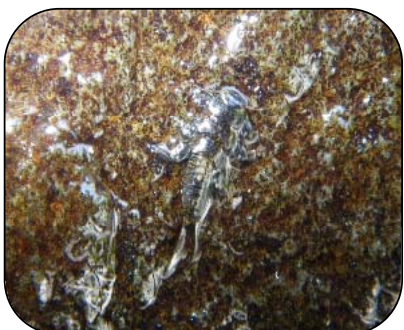
利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【ナミウズムシ】*

環境省：なし
群馬県：注目

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【ノギカワゲラ】

環境省：なし
群馬県：準絶滅危惧

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----



【ヒゲナガカワトビケラ】

環境省：なし
群馬県：なし

利根川	広瀬川	桃ノ木川	赤城白川	荒砥川	粕川
-----	-----	------	------	-----	----

市民調査

環境省、国土交通省から認定されている水生生物の調査方法に基づき、粕川親水公園で市民調査（市民自然観察会）を実施しました。当日は天候にも恵まれ、予定人数を上回るたくさんの市民の方々が参加して下さいました。



写真：粕川親水公園での市民調査の様子（7月26日）

今回の調査は、水質を「きれいな水」～「大変きたない水」の4階級に分け、それぞれの水質階級でよく見られる指標生物（30種）の確認状況から、その地点の水質を判定する手法で行いました。

調査の結果、水質階級は「Ⅰ きれいな水」と判定されました。

※調査方法等の詳細は、「全国水生生物調査のページ」をご確認下さい。

（参考）全国水生生物調査のページ <http://www2.env.go.jp/water/mizu-site/mizu/suisei/suisei.html>

この他にも、市内では「こどもエコクラブ」のみなさんをはじめとして、毎年調査が行われています。平成21年に行われた調査の一部を、以下にご紹介します。

市民調査の結果（平成21年）

調査者／団体名	調査日	調査地点	河川名	調査結果（水質階級）
前橋市児童文化センター 環境冒険隊	8月1日	赤城白川 水辺の広場	赤城白川	Ⅰ きれいな水
	8月29日	敷島公園	利根川	Ⅰ きれいな水
利根西環境フォーラム （元総社エコクラブ わんぱく探検隊）	9月6日	牛池川 水辺の楽校	牛池川	Ⅲ きたない水
	9月6日	明神東公園	牛池川	Ⅲ きたない水
なんきつ子どもエコクラブ	8月6日	赤城白川 水辺の広場	赤城白川	Ⅰ きれいな水
	9月6日	赤城白川 水辺の楽校	赤城白川	Ⅱ 少しきたない水

これからも前橋市の川にたくさんの生きものがすめるように、みんなで川を見守っていきましょう。

前橋市役所環境部環境課

住 所 〒371-8601 群馬県前橋市大手町二丁目 12 番 1 号
電 話 027-224-1111

この報告書は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

※写真、イラストの無断転用を禁止します。